



新人議員としての活動

明石市議会へ、現在川西市が議会改革で検討をしている一般質問における一問一答制について視察に行ってきました。同僚新人議員で2010年度会、略して10年会を結成し、まずは知るところから始めようと、しっかりと傍聴をしてみたいと思います。いいところは取り入れていきたいと思えます。

また、川西市の代表的な事業である川西市子どもの人権オンブズパーソンについて、所管している人権推進室と新人議員とで勉強会を開催しました。全国でも初の取り組みであるこの事業の予算や公開制度、他機関との連携など、たくさんある課題を共有し、今後に活かすべく話し合いました。

気になる道徳教育

おもいやり、やさしさなど、目には見えないけど本当に人として大切な道徳教育について、国の「心のノート」や兵庫県が作っている道徳副読本である「こころはばたく」・「心きらめく」・「心ときめく」・「心かがやく」を活用して頂くことを要望しました。

全児童に配布し、家庭で話し合ってもらえることが目的ですが、授業でも活用して、“こころ”の成長を学校と家庭の両方で促していくことを願っています。



秋田修一後援会

TEL/FAX 072-758-2456
MAIL akita@carrot.ocn.ne.jp
<http://www.s-akita.jp>



ごあいさつ

市議会議員になって早8ヶ月が経ちました。既に、臨時議会と3回の定例議会を終え、出会う方々に「がんばっていますか?」「慣れましたか?」とよく質問されるのですが、改めてまだまだ勉強しなければという気持ちでいっぱいです。

市民一人ひとりの生活とよく耳にしますが、人の一生の生活全般に亘ることを話し合うわけですから生半可な知識や、偏った考え方では当然いけません。たくさんの人の立場になり、考え方を理解し、公正・公平な判断をしなければなりません。

議員としてももちろんですが、人としての成長もしなければと日々奮闘中です。

めでた事



昨年の選挙をともに活動していただいた仲間に、子どもが生まれました。丁度まさしく選挙戦真っ只中に授かったようで、こんな嬉しいことはありません。しかも2組も。一組は女の子で“叶望(かなみ)ちゃん”と命名、もう一組の男の子は“健人(けんと)くん”だそうです。名前に込めた想いが伝わるいい名前です。すくすくと健やかに育てほしいと願うと共に、この子たちのためにもいい環境、いいまち、いい社会にしたいと思います。

さらに、もう一つ。世話人の代表をして頂いている谷田耕平さんが、川西市のりんどう賞を受賞されました。長年に亘り、子どもたちへサッカーを指導してこられた活動が評価された結果です。本当におめでとうございませす!

川西の未来をともに創ろう!

川西市議会議員

秋田修一

後援会便り

vol.3



川西市水防訓練(久代運動公園)にて

市議会議員としてではなく、一消防団員として参加。土嚢を作り、様々な工法で万が一の水害・災害に対応するための訓練です。市内全域の団員との連携も目的の一つです。一級河川である猪名川に面した川西市としては万全を期することが必須です。



消防体制について



Q：川西市・宝塚市・猪名川町の2市1町の消防組織が広域連携を実施しています。予算を出し合うことで高性能な通信指令センターを宝塚市消防本部に設置することができました。共同運用実施後の状況について消防長に質問を会派としていたしました。

A：現着時間（災害現場まで到着にかかる時間）は短縮をされました。また人口や面積に対する消防車両や救急車両の保有台数については広域連携によりカバーできるようになりました。総じて防災力は上がりました。

Q：市民が情報を得ようとする場合は電話による音声メッセージがありますが、回線数が減ったためになかなか繋がらず情報を得難い状況にあります。消防団関係者からの要望等も多く、何か対策はありませんか？

A：現状の回線数を倍にするべく申請をしております。759-1234の消防情報の利便性を高めます。

消防本部の一つ一つの対策が、市民のみなさまの安全・安心のレベルを上げることに繋がります。また危機管理室も安全対策や防災無線などの新たな試みも検討中です。今後期待したいと思います。



国へ意見書提出



子ども・子育て新システムについて

昨年の12月議会において、「子ども・子育て新システム」に関する意見書の提出についての請願を受け、紹介議員として請願書を市議会に提出し、厚生経済常任委員会に付託されました。

内容は、このシステムが、幼稚園・保育所・認定こども園の垣根を取り払い、幼児教育と保育を提供する（仮称）こども園に一体化する取り組みのことなのですが、保育所や幼稚園の現場の声や保護者の思いなどを十分に考慮した上で検討して頂きたいというお願いを国会に提出することです。

12月議会・3月議会とこの請願に対しては委員会・本会議ともに継続審査となっていました。この6月議会で、意見書を提出することが決まりました。

未来を創る子どもたちのために、十分議論して頂き、様々な角度から検証して、素晴らしいシステムを構築してほしいと思います。

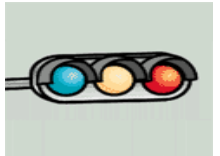


多田銀橋の渋滞緩和



多田の銀橋を渡って国道173号線に合流する交差点に、北行に矢印信号（←）をつける要望をしていた件について、去る7月8日に兵庫県警が軌跡調査を実施いたしました。その結果、トレーラーなどの大型車が通行する際に反対車線の右折車と接触する可能性があることが判明いたしました。ということで今のままでは付けることはできないということになります。

では、どうすれば実現できるか？を考えていきたいと思っております。



今後の対策としては、歩道の位置を変える方法があります。今の位置より少し下げることが出来れば軌跡が変わりますので条件が変わり信号が可能となります。

ただ、そのためには用地の問題がありますので簡単にはいきませんが、課題がはっきりしたので少しずつ対処していきたいと思っております。